

当院は急性期病棟、医療療養病棟、障害者病棟、介護医療院を有す、ケアミックス病院ですが、今年1月、新たに緩和ケア病棟を開設しました。2018年に緩和ケア内科を立ち上げ、緩和ケア外来、在宅緩和ケア(訪問診療、往診)を開始し、これに続く緩和ケア病棟開設となりました。癌の終末期には身体のみならず、様々な状況が変化します。それら様々な状況の変化に迅速に対応できるよう、多職種合同の緩和ケアカンファレンスを週1回開催し、在宅から入院へ、入院から在宅へと切れ目のない緩和ケアの実現を目指しています。

『患者さんがその人らしく生き抜く為に』、私たちに出来ることを追求しています。

## **CONTENTS**

- 会長挨拶
- 入会継続案内
- 施設代表者会議報告
- ふれあい看護体験
- 専門・認定看護師委員会研修
- 看護職の人材交流研修

- 認定看護管理者教育 (ファースト) 修了
- 実習指導者講習会修了
- 専門看護師・認定看護師からみなさまへ
- 寄附のご報告
- ナースセンターだより(vol.65)
- 理事会報告
- Let's take a break

## 令和3年度会員数

(令和3年10月20日現在)

●保健師	223名
●助産師	248名
●看護師	7,890名
●准看護師	531名

合計 8,892名

## 会長あいさつ



会員の皆さまには日頃より協会事業へのご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。 また新型コロナウイルスへの対応が長期化する中、日々ご尽力いただいている看護職の皆さま

「災害級」ともいわれた第5波では、感染力が強く、重症化のスピードが速いといわれる変異株 が主流となり、宿泊療養者や自宅療養者が増加しました。

宿泊療養施設での看護業務はひっ迫し、医療機関はじめ県立看護大学、行政の看護職員、看 護協会等の看護師派遣により何とか乗り越えることができました。

また、自宅療養者の健康観察では、訪問看護ステーションへの役割期待の高まりから、保健所や協力医師・調剤薬局 と連携を図りながら支援をしていく体制が進められました。

全国的に人々の行動制限が緩和されていますが、第6波への懸念は高まっており今までの教訓を生かした体制整備 が喫緊の課題となっています。

10月5日に開催した施設代表者会議では、看護管理者の皆さまに「第6波に備え看護師の応援派遣を検討していただ くこと」をお願いいたしました。

2025年を目前にし、看護を取り巻く環境は大きく変化しています。さらにその先の2040年を見据えた地域共生社会に 向けて、あらゆる場で活躍する看護職が自律して看護の専門性を発揮し役割を果たせるよう、日本看護協会と連携を図 りながら事業を進めて参ります。

地域のそれぞれの場で日々ご尽力いただいている看護職の皆さまには予断を許さない状況ですが、看護に対する関 心や期待が高まる今だからこそ、看護の力を結集し、前に進んで参りましょう。

> 公益社団法人 宮崎県看護協会 会長 中武 郁子

## ▶2022 年度看護協会継続手続きのご案内◀

会員の皆さまへ10月27日より順次、登録している施設をとおして 「継続のお知らせ」を送付します(個人会員の方へはご自宅へ送付し ます)。内容をよくご確認のうえ、会費の納入をお願いいたします。 なお、9月15日時点で登録している施設へのお届けとなりますの で、ご注意ください。

に敬意を表します。

#### 会費の納入期日について

【口座振替の方】2022年1月27日(木)

【施設とりまとめの方】所属施設の担当者の方にご確認ください 【コンビニ払い・銀行振込の方】2022年1月31日(月)

※上記記載日を過ぎても、会費納入は可能です。

▶ 継続のお知らせ

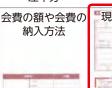
現在の登録情報が記載されていますので、 内容を確認してください。



#### ▶変更なし 書類の提出は不要です!

右側の「変更届」に正しい情報を記入して、切り離してご提出ください。 提出は、所属施設にご提出いただくか、事務委託会社へ郵送してください。

【送付先】〒206-8790 日本郵便株式会社多摩郵便局私書箱21号 公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会 会員登録事務局宛て 左半分



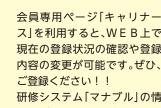


右半分

#### 継続のお知らせ〇&A

- 退職者の「継続のお知らせ」が施設に届きました。
- A お手数ですが、宮崎県看護協会へお早目にご返送ください。
- 「継続のお知らせ」が届きません。
- A 会費の納入が9月以降の方については、第1回目の発送分には含まれません。翌月以 降に送付されますが、会費の納入期日については、上記をご確認ください。
- 変更手続きをしましたが、「継続のお知らせ」には、古い情報が掲載されています。
- A 「継続のお知らせ」は、9月15日時点の情報で作成されています。最新の情報は、 「キャリナース」でご確認ください。
- 2022年度は、退会(または県外へ転出)する予定です。
- 所定の手続きが必要となりますので、宮崎県看護協会へご連絡ください。特に、口 座振替の方につきましては、会費の引落の都合により、12月24日(金)までにご連 絡ください。







ス」を利用すると、WEB上で 現在の登録状況の確認や登録 内容の変更が可能です。ぜひ、 ご登録ください!! 研修システム「マナブル」の情 報は、会員情報を反映していま す。「マナブル」のマイアカウン

トの利用者登録情報を変更す る場合も、「キャリナース」で申 請してください。

## 令和3年度 施設代表者会議報告

令和3年度施設代表者会議を10月5日(火)Web併用で開催しました。会場参加者が31名、Web参加者が68名と計99名の方に参加していただきました。

中武会長より、挨拶に続いて日本看護協会の動向や令和3年度重点政策・重点事業(日本看護協会、宮崎県看護協会)、新型コロナウイルス感染症における協会活動の報告がありました。今回の第5波では軽症者宿泊療養施設における看護師確保に大変苦労し、急遽医療機関に協力を依頼して看護師を派遣していただきました。また、県立看護大学の教員、行政の看護職、協会職員の応援で何とか乗り切ることができました。今後は、感染拡大時の看護職の応援対制整備が重要課題であるため、より多くの施設に協力をお願いしたいと話されました。

橋満常務理事からは研修管理システム「マナブル」について登録の必要性、メリット、新規登録から研修終了までのマニュアルを協会HPで紹介していることなどについて報告しました。

そのあと、宮崎県福祉保健部福祉保健課自殺対策担当の宮内主査より宮崎県の自殺の現状等についてデータを示し説明がありました。

自殺を防ぐために我々が出来る事としてひなたのキズナ"声かけ運動"、「ゲートキーパー」の役割を説明され協力依頼がありました。

特定行為研修については宮崎県福祉保健部医療薬務課看護担当の鴇副主幹より宮崎県の現状について、令和2年10月宮崎県が実施した特定行為研修に関する調査結果を踏まえた報告と、令和3年からの特定行為研修に関する取組みについての紹介がありました。

そのあと、特定行為研修を受講した興梠裕樹氏(高千穂町国民健康保険病院)と佐藤幸代氏(宮崎県済生会訪問看護ステーションなでしこ日向)の両名より、研修を受講するに至った経緯や研修内容、研修後の活動状況について報告をしていただきました。医療機関と訪問看護ステーションと従事場所は違っていても、特定行為研修を受講するという強い思いと日々の並々ならぬ努力、そして家族や職場の強い支援により実現できたことが報告から知る事ができました。会場及びWeb参加者から、派遣時の費用負担に関することや研修修了後の待遇の変化等、具体的な質問も多くいただき、大変有意義な時間となりました。

今後も会員の皆様のご意見を参考に、多くの施設代表者の方々に参加していただけるよう工夫しながら開催してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

報告 常務理事 江川千鶴子



## 感謝状贈呈

感染拡大のピーク時に軽症者宿泊療養施設の看護師が不足する中、宮崎医療生活協同組合より2名の看護師 を派遣していただき、保健医療班の業務に貢献された方々に感謝の意を表すため、中武会長より感謝状を贈呈し ました。2名の看護師を快く派遣していただいた理事長および病院長はじめ看護スタッフの皆様にも改めて感謝申 し上げます。



宮崎生協病院 院長 遠藤 豊先生



前中央:小牟田様、中原様









# ふれあい看護体験 2021

2021年7月27日~8月27日









体験施設	参加者数
育生会 井上病院	4名
医療法人伸和会延岡共立病院	10名
平田東九州病院	17名
ココロとカラダのリハビリステーションほのか	12名
宮崎県立宮崎病院	26名
宮崎大学医学部附属病院	19名
国民健康保険高原病院	4名
愛泉会日南病院	6名
健寿会 黒木病院	9名
高千穂町国民健康保険病院	13名
宮崎県立延岡病院	24名
獅子目整形外科病院	2名
独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院	12名
社会医療法人如月会 若草病院	7名
医療法人友愛会野尻中央病院	10名
宮崎県立日南病院	11名
五ヶ瀬町国民健康保険病院	3名
延岡リハビリテーション病院	7名
国立病院機構 宮崎病院	10名
慈英病院	31名
宮崎生協病院	7名
国立病院機構都城医療センター	10名
えびの市立病院	4名
串間市民病院	6名
けいめい記念病院	5名

今年度は38施設に参加のご意向をいただきましたが、コロナ禍の中、25施設にご協力いただき、272名の生徒さんが参加することができました。参加した生徒さんは、将来に向けての足掛かりになったのではないでしょうか。

ご協力いただい皆様には、心よりお礼申し上げます。

## ▲ 参加された生徒さんの感想 ✓

- ●見れない看護を体験できてよかった。
- ■コミュニケーション能力を身に付けないといけないと思った。
- ●患者の気持ちを知って看護をされているのです ごいと思った。
- ●患者さんに添った看護をされている。
- ●臨機応変な対応をされていてすごい。
- ●中学校での職場体験とは違って、 また今回の体験をしてよかった。
- ●看護師さんの仕事の幅広さに びっくりした。



## 取材者感想

延岡リハビリテーション病院のふれあい看護体験では7名の高校生が参加しました。

聴診器や輸液ポンプ・吸引器などの医療機器に触れたり、足浴のケアを通して患者様と関わる体験ができました。短い時間でしたが、看護の仕事に触れることができる貴重な経験になったと思います。

#### 訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による研修会

の実践に活かすことを目的に、宮崎県看護等研修センターからWeb配信 Zoom配信で講義中の講師 今回、新型コロナウイルス感染症の看護について知識を深め、訪問看護 で研修を開催しました。感染管理認定看護師の串間真由美氏(けいめい記 念病院兼訪問看護ステーションかがやき)に、「新型コロナウイルス感染 症に罹患した在宅療養者に対する訪問看護の実践|をテーマに、令和3年 7月3日(土)14時~15時30分の90分間の講義をしていただきました。訪 問看護ステーションに従事している看護職43人が参加しました。

「日頃の業務である訪問看護上で感染対策が実践できる具体的な内容 で大変よかった|「気を引き締めていきたい|「Zoomで参加しやすかっ た」などの感想が聞かれました。



新型コロナウイルスに感染したケースの対応の紹介から、具体的に何を準備すべきか等明確にできた内容でし た。在宅支援として訪問看護師の役割の重要性やスタッフケアの必要性も感じました。

「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」(第5版)に沿っての説明では、定義・診断・重症度分類などの知識も 得ることができましたが、常に最新情報を得るようにすることも必要だと思いました。

#### 医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修

今年度、医療機関と訪問看護ステーションの看護職が人材交流を通して、互いの役割や地域における看看連携 について考える機会として、県西・県北・県央の3地区での研修を企画しました。

県西地区(都城・北諸県・小林・えびの・西諸県)では、7月31日(土)に都城市の国立病院機構都城医療センターで 開催しました。医療機関11名、訪問看護ステーションから11名の計22名が参加しました。

パネルディスカッションと意見交換会(グループワーク)

家族の想いに寄り添う在宅看取り支援 ~病院から在宅につながった事例報告

パネラー

郡山晴喜氏:ホームクリニックみまた 院長

吉村伊織氏:ホームクリニックみまた 看護師

廣瀬さとみ氏:メディカルシティ東部病院 看護師長

小園裕子氏:メディカルシティ東部病院 居宅介護支援事業所 (CM)

栗山誓子氏:三股町訪問看護ステーションなごみ 所長





事例のご家族(当日参加)の方からのお話しもいただくことが できました。日々対応する患者、家族の想いをタイムリーにキャッ チし、意思決定支援や継続看護を意識した関りの重要性を再認識 することができ、病院と在宅医の協働とそれをつなぐためには、 看護師の役割が重要であると感じました。

県北・県央地区では下記の日程で開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしています!!

<mark>県北地区</mark>(延岡・西臼杵、日向・東臼杵、西都・児湯)

日時 10月24日(日) 13:30~16:00 会場 エンシティホテル延岡(延岡市)

県央地区(宮崎・東諸県)

日時 11月18日(木) 時間調整中 会場 宮崎県看護等研修センター(宮崎市)

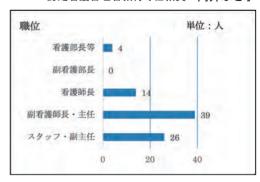
## 認定看護管理者教育ファーストレベル研修

認定看護管理者教育専任教員 向井ふさ子

令和3年度のファーストレベルは83名の受講者で5月11日から開講予定でしたが、コロナの感染拡大の影響で開始日を繰り下げて7月4日~9月27日の日程で行いました。

今年度受講者の48%は管理経験がない人達ですが、これから看護管理を経験していく上でファーストレベルを受講し、管理の基本的なことを学ぶことはとても意義があります。ファーストレベルの教育目的は看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得することです。研修を通して学ぶ中で現状を理解し、客観的な分析ができる力をつけて看護管理者のあり方を考える機会です。主任、副看護師長に就任して悩んでいる人にはぜひ受講していただきたいものです。

今年度は途中からZoomを用いたリモート研修に切り替えた為に受講生同士が直接会話をする機会が減ってしまい、ネットワーク作りが不十分でしたが、この状況を新たな研修スタイルと考え、受講者が良い学びを得るように次年度に向けて工夫していきたいと思います。



## 実習指導者講習会

#### ○ 病院主体コース

<mark>小児看護学グループ</mark> (宇賀村寛子:愛泉会日南病院、川越仁子:宮崎県立延岡病院、河野通代:県立こども医療センター、堀内久美子:宮崎県立宮崎病院)

私たちは、現場で実践できる実習指導者となることを目指しこの講習会を受講しました。受講生同士が、それぞれの現場の指導体制や悩みなど意見交換を行う場ともなりました。

講義では、臨地実習の位置づけや役割と期待、現代の学生の特徴などを学びました。極度の不安や緊張状態にある学生の気持ちを汲み取り、質問しやすい雰囲気作りをすることで、学生は安心して実習に臨めます。私たち指導者は看護師モデルであると同時に、学生に「生きた授業」をする臨床の場の先生であるという自覚が必要です。いつか一緒に働くかもしれないチームの一員として、学生一人一人に向き合い、学校教員と連携を取り、個人の学びのレベルに応じた指導の大切さを学びました。

今回の講習会は、新型コロナの影響により、開、閉校式・担当講師の指導・講習終盤のグループワーク・「実習指導案作成の学び」の発表会はオンラインミーテングを利用する形となりました。仲間と講習会終了の喜び

を分かち合えなかったこと残念でしたが、コロナ禍の学生の気持ちがよく分かりました。感染予防対策の中実習に臨む学生に、臨地で学べる楽しさや喜びを伝え、有意義な臨地実習にしたいという思いが強くなりました。

2か月間にわたる講習会の中で、一人では難しいこともグループで協力することで乗り越えられることを実感しました。通常勤務を行いながらの受講は決して容易ではありませんでしたが、振り返ってみると、自分自身を大きく成長させたとても充実した日々だったと思います。本研修での多くの学びを、現場で実践することは受講者一人では困難です。まずは、他のスタッフに協力を得られる働きかけをすることから始めたいと思います。今後、実習指導者として経験を重ねながら指導の質を上げられるよう自己研鑚に努めていきたいです。

#### <mark>・老年看護学Bグループ</mark>(黒木美賀:県立宮崎病院、岩下誠也:宮崎江南病院、長友和美:平和台病院、濱田祥平:宮崎医療センター病院、神谷礼佳:西都児湯医療センター)

今年度より、実習指導者講習会は新しいカリキュラムで実施されました。 講義では、教育心理や教育方法を通して人を育てていく事について深く学ぶことが出来ました。また、看護論や専門分野においては自己の看護を振り返る機会にもなりました。最初は、不安と緊張の中で自分の意見を言う事が出来なかったのですが、演習を繰り返すことで活発な意見交換が出来るようになりました。講義を受ける中で、実習要綱の確認の必要性や、現代の学生の特徴やレディネスを考え、指導していく大切さを学びました。そして、学生が質問や発表しやすい雰囲気、実習しやすい環境を整えるのが指導者の役割だと学びました。実習指導案作成ではグループメンバー全員で一つの課題に対して、メンバー間で積極的に意見交換することで自分の視野が広がりました。そんな中、急に集合研修が出来なくなったことで指導案が完成できるか不安がありました。しかし、初めに学生に何をどのように学ばせたいかを明確にしていたことで慣れないzoom を使っての作業でも、同じ方向性を持って、メンバー全員で協力し、最後まで完成させることが出来ました。演習と発表を通して、相手に思いが伝わるような言語化と文章化するのがまだ未熟であると痛感しました。今後、実習指導を行う中で指導の実践と振り返り、修正を行い、経験を積み重ね自己研鑽に努めたいと思います。

自分自身が学生や新人の時のことを考えると、何も分からない私たちに先輩たちは多くのことを教えてくれたのだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。私たちが今、教える立場になり、「看護学生」を「私たちと共に看護を行う仲間」としてみんなで育てるという実習環境を整えていきたいと思います。現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実習は貴重であるため、学生の良い学びに繋がるような実習にしたいと思いました。

#### ○ 特定分野コース(古賀訪問看護ステーションあおぞら 児玉麻美)

今回、8日間行われた宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野)に参加させていただきました。3日間の講義が終わり、4日目からのグループでの演習の直前で新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発令となり、オンラインでの講習会へ変更となってしまいました。

講習会では、教育の原理・心理・方法等を講義で学び、それを活かして 指導案を作成する事を行いました。指導案作成では、実習の中で大切だ と感じる場面を教材化し、教材観・学生観・指導観を考え、その場面に含 まれる指導可能な内容を取り上げ、予測される学習展開を行っていく事 の重要性を学びました。また、実習場面で学生に対し、発問する場面が多 くありますが、何を学んで欲しいのかをしっかり考えながら発問していく 事が大切であると学びました。

令和4年度には第5次指定規則改定があり、新カリキュラムで学ぶ学生

が今後臨地実習に来る事になります。社会のニーズにて改正された新カリキュラムでは、地域・在宅看護論の重要性が増しています。その事からも、私の在籍している訪問看護ステーション等での学びの必要度も高くなり、自分の看護観や教育観をしっかり持って指導にあたる事が大切だと思いました。

今回は、オンラインでの講習会でしたが、他受講生と指導案作成を行う中で、さまざまな意見や看護観・教育観を聞くことができ、とても貴重な機会を得ることが出来ました。

このような大変な中で、実りある講習会を受講できた事にとても感謝しています。講師の諸先生方、担当していただいた看護協会の方々に深くお礼申し上げます。

#### 協会より



昨年度、宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会(病院主体コース)及び同研修特定分野は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができませんでした。本年度は新カリキュラムとなりe-ラーニングを一部取り入れ開催できたものの、病院主体コースは演習の途中で、特定分野は演習開始直前にオンラインによる遠隔指導に形態が変更となりました。 そのような状況の中で、演習支援者、受講生の方々共に熱心に取り組んでいただき、病院主体コースは31名、特定分野は17名が全員講習会を修了することができました。

次年度も引き続き開催したいと考えておりますので、学生指導について学びたい方の参加をお待ちしております。

#### 第22回 もう一度押さえておきたい 看護のコツ ~専門看護師・認定看護師からみなさまへ~

## 自宅でできる新型コロナウイルス感染症対策のポイント

感染管理認定看護師 串間 真由美 (けいめい記念病院,

世界を巻き込んだコロナ騒動も1年半が過ぎました。いつになったら心穏やかな日常が取り戻せるのか未だ見通せない状況です。そんななかでも新型コロナウイル感染症の脅威におびえるのではなく正しい対策を実践することで日常生活を少しでも安心して過ごせるといいですね。

私たち感染管理に携わる者は、「標準予防策の徹底」というキーワードをあちらこちらで多用しています。これは、医療機関において患者様や職員を感染症から守るために必要な対策だからです。

皆さんにとって大切なご家族や友人らを感染症から守るための対策はどんなことがあるでしょうか。この標準予防策に当てはめて考えてみましょう。

標準予防策 項目	日常生活場面	注意点
手指衛生	帰宅後、食事の前後、 トイレの後など	*手拭きに使用するタオルの共用は避けましょう ・ペーパータオルやキッチンペーパーなどの使い捨てが望ましい ・またはタオルを個人用とし毎日交換
個人防護具の使用 呼吸器衛生 咳エチケット	マスクの着用	*手作りの場合は布の選択に気を付けましょう ・通気性の良いものはウイルスも通してしまう可能性あり ・目の細かな布を何重にも重ねて作ることが大事
	有症状者はすぐに病院受診	*有症状者とは可能な限り動線を区分しましょう ・有症状者のごみはしっかりと口を縛って密閉して廃棄しましょう
周辺環境整備および リネンの取り扱い	こまめな拭き掃除	*水拭きでこまめにたんぱく汚れを除去しましょう ・特別な薬剤やクロス剤を使用することはない
	通常洗濯	* しっかり乾燥させましょう
消毒	ハイターなどの消毒液は 濃度・時間・保管方法が重要	* 「除菌」や「除菌○○%」という商品に惑わされないようにしましょう ・消毒を行う場合は必要な薬剤の特性を知ることが重要 例: (ハイターの場合) 遮光、蓋つき容器、作り置き不可 等

#### ■専門看護師・認定看護師の皆様へ

宮崎県看護協会HPに、CNS・CN専用ページ(掲示板)を開設しています。情報発信、情報収集に是非ご活用ください。 利用申請は、「宮崎県看護協会公式ホームページ ▶ 「看護職の方へ ▶ 「CNS・CN専用ページ からどうぞ

# 寄附のご報告

本協会の新型コロナウイルス感染症に関する活動への応援のご寄付をいただきました。 皆様のご厚志に心よりお礼申し上げます。

#### 令和3年10月7日 贈呈式

#### 株式会社宮崎銀行

代表取締役頭取 杉田 浩二様 より、

新型コロナウイルス感染症対策支援のためにご寄付をいただきました。





#### 令和3年10月12日 贈呈式

#### 有限会社吉田林業

代表取締役 吉田 和男様 より、

現在の医療状況で業務している看護職のみなさまの活動に役立ててほしいと活動支援のためのご寄付をいただきました。





## **NURSE CENTER LETTER Vol.65**

#### センター長コラム

小城 一代 💉



9月末、新型コロナ感染症の新規患者数は減少し、県下に出されていたまん延防止等重点措置は解除となりました。まだまだ終 わりではないですが、対応されていた医療従事者や関係者の皆様に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

コロナ禍の中、計画していた事業は感染対策に留意し実施しましたが、実演を伴うものや現場に出向いての内容は中止せざる を得ませんでした。「看護の心」普及事業である"ふれあい看護体験"は、第5波の最中、一部で中止もあり残念でしたが、ある施設 ではZOOM開催を行って頂き好評でした。また、「進路相談会」は徹底した感染対策と人員制限を行い、会場・出展校・県担当者の 方々ご協力で、看護職を目指す生徒達約300人を迎えることができました。看護協会職員の応援の力も大きく、全員での"お疲れ 様~!!"には感動しました。コロナ禍でも事業が実施できた事は、関係方々の繋がり・ご協力に感謝です。

ナースセンターは無料職業紹介所として、一人でも多くの未就労の看護職が安心して就労できるように支援することも事業の

柱の一つです。スタッフが個々に寄り添い、親身になって相談に応じ就労先との マッチングに取り組む姿は、仕事(業務)以上の心象を受けます。

医療・福祉・介護の現場では人材確保が困難な状況が続いていますが、人生100 年時代、「多様な働き方」が推進され、看護の未来作りのためにも、一人ひとりが生 きがいを持って働けるよう「働く側」・「雇用する側」、一緒に考え、乗り越えて行け るようにナースセンターも頑張りたいと思います。

今後もご支援賜りますよう宜しくお願い致します。



## 施設の魅力発信力向上と看護職の確保・定着について

**看** 護職の確保・定着の課題は以前から病院を問わずあらゆる職場で長年解決できない課題である。宮崎県の現状は、県内の看 護師等の養成機関の全体の就職者の45%が「高い給与」、「充実した福利厚生」、「卒業後の教育体制」を求め県外の就職を選 択している。また、県内の医療機関等の求人の約7割が即戦力を求めていることで求人求職のマッチングしない状況がある。 少子高齢化が進み、労働力人口が減少していく中、何の策も講じず今までどおりの"夜勤のできる常勤職員"の採用を続ける従来 型の人材マネジメントでは対応できなくなっている。そこで、施設が自施設の魅力を発信するノウハウや人材確保に関するヒン トについて学ぶ研修、「施設の魅力発信力向上研修」を行った。

施設の魅力発信力向上研修は、県内外看護師等への県内就業支援事業の一環として令和元年から3年間、実施した。研修は、基礎 編・実践編として宮崎地区・延岡地区・都城地区で地域の現状をふまえた内容とした。

▲ 和元年は、講師に宮崎大学COC+教授の西村勇氏を迎えた。 県内の大学と企業と連携しICTを活用した産業人材育成プログラムの構築、キャリアサポート体制の構築・実施(就職支援) について講演した。宮崎県の特徴と課題について下記のように表現した。



都城会場で講演する西村教授

- 情報を知らんかったのは、教えてもらっとらんから
- 受動的な採用方法から能動的な採用方法へ転換
- 採用担当者の方、御社の経営理念は何ですか?
- 現在の社員の働き方改革は何合目ですか
- IT革命ってなんやったけ?
- 情報提供と収集の仕組みの点検

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)は、平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等 と協働して学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成する教育 カリキュラムを実施することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とした事業のこと

講演の内容は、医療分野においても同様であると気づかされた。さらに、西村教授は「インターネットの普及で消費者行動の変化 が起きている。インターネットを通して誰でも情報を調べられ、SNSで簡単にシェアできる。」今までの広報戦略の見直しが必要 であると思った。

和2年は、看護職採用と定着への取り組み(好事例発表)の実践事例として、宮崎生協病院と延岡リハビリテーション病院 の取り組みについて紹介した。

宮崎生協病院では、「新卒看護師確保|の取り 組みの発表だった。看護部に「看護学生委員 会」があり、「高校生から関わり、育て、後継者 として確保するために」という目標を持って

- 看護師体験を年間8回~10回実施
- 2 面接トレーニング
- 3 卒業と合格を祝う会& 奨学金説明会を行っている。 看護学生への取り組みも行っている。

新卒で入職した後も丁寧に関わりを持ち支援していた。



宮崎生協病院 看護師長 井上友香氏

延岡リハビリテーションでは、病院の理念 のもとに、看護管理者は、「看護職採用と定 着への取り組み」を

- ① コミュニケーションを常に図る
- 2 希望休暇をとれるように配慮する
- 3 お互い様の精神を大事にする ということを大切していた。



延岡リハビリテーション病院 総看護師長 加藤千鶴氏

和3年は、看護人材受入体制整備支援事業(看護人材受入体制支援事業と看護人材受入体制支援事業)を活用した4施設の 事例報告を行った。研修はオンライン研修として実施し28施設41人が参加した。事例報告の内容は以下のとおりである。

高千穂町国民健康保険病院は、キャリアアップ研修派遣支援事業を活用し 感染管理認定看護師が看護師特定行為研修を受講した。病院全体の特定講 師についての理解が進み、感染症治療について医師とディスカンションし 抗菌薬の適正使用を推進し、グラム染色で感染症の原因微生物を推定する ことで抗菌薬選択につながっている。また、感染管理認定看護師自身が仕 事に対するモチベーションが上がっているという報告だった。



副看護部長 中島千恵子さん



高千穂町国民健康保険病院 看護師長 興梠裕樹さん



山中ゆかりさん

愛泉会日南病院は、看護人材受入体制支援事業を活用し感染管理認定看護 師の受講をした。看護管理者は、職員の認定看護師の受講を後押した。受講 後は、ICT、院内の感染教育、感染対策マニュアルの見直し等の場面で活 躍しているという報告だった。

竹内病院は、看護人材受入体制支援事業を活用し認定看護師の外部講師の 招聘や院内教育体制の充実を行った。看護管理者への研修受講を進めて いった。小規模病院ならではの良さを活かしつつ、一緒に学び成長できる 看護部を目指しているという報告だった。



訪問看護ステーションなでしこ日向 管理者 佐藤幸代さん

宮崎県済生会日向病院 総務課長 看護部長 任田知治さん 松田聖美さん

宮崎県済生会日向病院は、看護人材受入体制支援事業でGCU・小児病棟研修を行った。宮崎大学医学部附属病院でのOJTによっ てGCUや小児科病棟に入院している患児の看護、継続的な看護と家族指導の実際を学び、院内スタッフへ伝達指導(小児看護や 家族指導など)を行ったという報告だった。さらに、キャリアアップ研修派遣支援事業を活用し訪問看護ステーション管理者が看 護師特定行為研修を受講した。特定行為「ろう孔管理関連」「栄養および水分管理にかかる薬剤投与関連」を修了したことで、医師 と手順書を作成し、脱水時の補液や膀胱瘻カテーテル交換を行っている。事業活用に当たっては、事務方の協力も不可欠であると の報告だった。事務方の理解を得るための看護管理者の調整能力が重要である。

■護職の確保・定着では、まず採用した看護職の育成が重要な鍵となる。また、社会状況をしっ かり捉え、変化に対応していく施設の姿勢こそが重要であると感じた。多様な勤務形態によ る働き方の実現と適正な労務管理、看護職一人一人がキャリアマネジメントし、働きがいのある "働き方"の実現が働き続けられる職場となり、看護職の確保・定着に有用であると考える。

雇用側及び看護管理者は

時代の波に乗れ!変化を恐れるな! である。



施設の魅力発信力向上研修 特別講演のポスター

## 看護の出前授業

「看護の出前授業」は公益社団法人日本看護協会の呼び掛けで2004年にスタートし、都道府県看護協会と日本教育新聞社との共同で実施しています。宮崎県看護協会では2011年よりスタートしました。宮崎県内の中学校・高等学校を対象に、医療の現場で働いている地域の看護職が講師として学校を訪問し、いのちの大切さや看護職の仕事、その魅力などについて授業を行っています。昨年度は9校(高等学校:4校・中学校5校)からの申込みがあり、449人の生徒たちに看護職(保健師、助産師、看護師)の話を直接聞いたり、触れ合ったりする機会を提供しました。今年度は、11校から看護の出前授業の申込みがありまた。(令和3年9月現在)

# 生徒さんの感想

- ●患者さんやその家族に寄り添える看護師になりたいと思った。
- ●病院で働くこともだけど、訪問看護や災害支援ナースのこともしっかり考えてみようと選択肢が増えた。
- 命の大切さについてしっかり学ぶことができたし、異性と付き合うことは大事なことなんだと思いました。
- 身体変化には個人差があって、私も悩むことがあったし、周りにも悩んでいる人がいるときがあるので、その時は慰めたり優しい言葉をかけたいです。

#### 学校の 先生の 感想

● 看護職という職業の地域との関わりや中学生のうちに身に着けていてほしい力、誇れる郷土にかかわる知識についてなど、仕事の内容を超えた広い視点からの話も聴くことができ、生徒の生きる力の向上につながったと感じた。

#### 講師の 感想

●自分自身が授業の準備をすすめる中で、今一度自分の仕事について振り返るとても良い機会となった。









## 看護進路相談会

令和3年7月22日(木・祝)、宮崎市民プラザで「看護進路相談会」を開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、今回は2年ぶりの開催となりました。中学校12校、高等学校30校より283名が参加し、県内の看護学校ブースを訪れ熱心に話を聞きました。参加者の88%は"看護"を目指しており「たくさんの学校の話が聞けて良かった」「話を聞いて看護師になりたいという気持ちが強くなった」等の感想が寄せられました。コロナ禍で注目を集め、超高齢化社会に向けて益々ニーズが高まる看護職。

これからも、「看護」に触れる機会、知る機会を提供し、1人でも多くの方に「看護」を目指してもらえるよう情報発信に努めていきます。

















◎ 中学生から高校生まで多くの方が参加

展示コーナー

## 取材メモ 🥒

それぞれの学校が工夫を凝らして紹介されていて、学校の魅力が伝わってきました。

#### 令和 3 年度 理事会報告

### 令和3年7月17日(土) 11:00~12:00 保健師:220名 助産師:247名 8,696名 看護師:7,717名 准看護師:512名 協議1.基本方針:今回はなし 協議2.事業推進に関する事項 2-1 事業報告(令和3年4月~6月分)(案)について:承認 2-2 令和3年度施設代表者会議について 協議3.管理的事項:今回はなし 協議4.人事関係:今回はなし 協議5.その他:今回はなし ・寄付金について

## いいお産の日 in 宮崎 5

ママテレ&いいお産の日

ママテレ&宮崎県看護協会助産師職能委員タイアップ企画



ママテレで母親学級!!

令和3年11月13日(土) AM11時05分~

UMK テレビ宮崎 Mama talk TV ママテレ

> 助産師が 答えま~す!

コロナ禍の出産!助産師さんに話してみよ コロナ禍の出産!できることからやってみよう



## 編集後記



皆様いかがお過ごしでしょうか。徐々に秋らしい気候に移り変わり、 日中は過ごしやすく、朝晩は肌寒く感じることも多くなってきました。

秋は色々なことに挑戦しやすい時期でもあります。昨年から続く新 しい生活様式で、これまで注目していなかったことにも目を向ける機 会が増えているかと思います。体調に注意しつつ、新たな自分を見つ けるきっかけになる秋にしていきましょう。 柳田 大貴

柳田 大貴 (井 上 病 院) 柴立 佑二 (宮崎医療センター病院) 梅原 広幸 (潤和会記念病院) 有近 俊宏(延岡リハビリテーション病院) 矢野喜代美 (済生会日向病院)

田上 亜澄 (宮崎善仁会病院) 仁田 一貴(藤 元 院) 野中 香織 (野 尻 中 央 病 院)

宮田 由美 (串間市民病院) 日高まどか (鶴 田 病 院)

公益社団法人 宮崎県看護協会

TEL 0985 (58) 0622 FAX 0985 (58) 2939 発行責任者/中武 郁子

行/宮崎市学園木花台西2丁目4-6 E-mail: mkango@d2.dion.ne.jp https://www.m-kango.or.jp